

大城の風



令和8年度「安心できる居心地のよい」学校をめざして③

先日の引き渡し訓練へのご協力ありがとうございました。車や人で込み合う中、保護者の皆様がマナーを守って、行動して下さったおかげで、スムーズに行うことができました。

大雨や落雷など、子どもたちだけで下校させることが危険な場合は、引き渡しを行うことも考えられます。その際は、今回の訓練のようにご協力いただきますようお願いいたします。

前号でお伝えしておりましたとおり、今号では、「めざす子どもの姿」について、少し具体的にお伝えしたいと思います。学校教育目標である「よりよく生きる子どもの育成」を実現するために、「自分らしく学ぶ子ども」「考えてかかわる子ども」「よい行いをする子ども」「自分を振り返る子ども」の4つの姿を「めざす子どもの姿」として、以下のように想定しています。

めざす子どもの姿

自分らしく
学ぶ

学習が
楽しい!



主体性

- ・「知りたい、やってみたい!」を見つける
- ・「こうすればできそうだ!」を決める
- ・「次はこうしてみよう!」と繰り返しやってみる

自分らしく学ぶとは、身の回りの事柄や、はじめて出会ったことに興味や関心を持ち、自分が知りたい、やってみたいことを見つけること、「こうすればできそうだ」と自分で頑張る方法を決めること、そして、「つぎはこうしてみよう」と、できるまで繰り返しチャレンジすることです。このような学びは、子どもたちの「主体性」を育てていきます。子どもたち自ら主体的に学んでいくことは、学習の楽しさを実感することにつながると思います。

めざす子どもの姿

考えて
かかわる

一緒に学ぶと
楽しい!



協働性

- ・「〇〇さんすごいね! くわしく教えて!」など友だちの気持ちを考えながらすすんで話を聞く
- ・「ぼくはこうやってみよう!」と自分のやりかたや考えを友だちにすすんで伝える

考えてかかわるとは、相手の気持ちを考えながら、話を聞いたり、自分から友達に伝えたりしながら、仲間と良好なかかわり方をすることです。人はだれしも、人から認められると嬉しいものです。「すごいね! それ教えて!」「次は私のも聞いて!」というやりとりが学習の中に生まれることを期待します。

めざす子どもの姿

よい行い
をする

人の役に
立てると
うれしい!



自己有用感

- ・「あいさつするとお互いが気持ちいい」を実感する
- ・「ゴミ拾いをする地域のためになる」を実感する
- ・「親切にするとお互いにうれしい」を実感する

よい行いをするとは、例えば、自分からあいさつをしたり、地域のごみを拾ったり、困っている人に親切にしたり、地域行事に進んで参画したりするなど、自分がよいと思うことを進んですることです。自分がよいと思ったことを進んでやることで、あいさつを交わす気持ちのよさや地域のためになることができた喜び、親切にできたことに対する満足感などを積み重ねていくことで、人の役に立つ喜びを感じることができると思います。

めざす子どもの姿

自分を
振り返る

次もまた
がんばるぞ!



自己肯定感

- ・「〇〇が分かった、できるようになった」を実感する
- ・「いろいろな方法を試すことができた」を実感する
- ・「次はもっと〇〇をやってみよう!」を実感する

自分を振り返るとは、「〇〇が分かった、できるようになった」、「いろいろな方法を試すことができた」という自分の成長を実感し、「次はもっと〇〇をやってみよう!」という、次への見通しや意欲をもたせることです。振り返ることが習慣になると、学んだことを自覚し、自分で、次の一歩を踏み出せるようになります。

このような子どもたちの姿を目指して、職員一同、努力してまいります。